



2 月号 2021-2022
No. 536

西条

第 61 代会長スローガン 「 伝承 そして新たなる時代へ 」

キーワード 「 挑戦 」



石鎚神社 新年例会にて 2022.1.11(火)

新春に 周年成就 祈願して
新たな絆 石鎚に誓う

結成六十周年記念大会委員長 明比紳一郎



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2021-2022 ライオンズクラブ国際協会会長

ダグラス M・アレキサンダー

テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する)」

メッセージ 「 心からの奉仕を 」 *Service from the Heart*



2021-2022 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区ガバナー

蔵本守雄

スローガン 「 命燃やして恋せよライオンズに 」

キーワード 「 Overcome 」



2021-2022 ライオンズクラブ第 61 代会長

曾我部克正

結成60周年記念大会 2022 年 4 月 3 日(日)

大会テーマ 「 未来への提言 」

記念ゴルフ大会 2022 年 3 月 27 日(日)



YCE・国際関係事業 [ZOOM による YCE デーキャンプ (ZOOM で茶話会)]

日時：2022年1月22日(土)13:30~15:30

趣旨：336-A 地区在住海外留学生、または海外の若人による ZOOM 茶話会を通じ、国際交流を図る

経緯：西条市国際交流協会との交流の場で参加いただいたアンドリュウさんに YCE 地区委員より趣旨を説明、賛同いただき今回の参加となりました。

金子地区委員には大変御世話になり、ありがとうございました。

■参加者

1 R 2 Z	松山道後 LC	チャン ティビン	ベトナム
2 R 4 Z	西条 LC	アンドリュウ・タム	米国
3 R 1 Z	大洲 LC	ディエゴ コサ フェルナンデス	スペイン
4 R 1 Z	高松フェニックス LC	サイ カリファアババカ	セネガル
5 R 1 Z	坂出白峰 LC	ファビアン ビン ミンソン	マレーシア
8 R 1 Z	徳島すだち LC	ブエン ティ バン	ベトナム



『 ZOOM で茶話会 』に参加して

1月22日に行われたYCE・デーキャンプでは、様々な国々から来た外国人が集まって、それぞれのお正月の様子などについて語り合いました。コロナ禍の中で、外国人の皆様が帰国できずに、ずっと日本にいたと思うので、このイベントで自分の国についてちょっとだけでも思い出させてくれて、外国人の皆様にはとてもうれしいことだと思います。このイベントを開催してくれて、どうもありがとうございました。

~アンドリュウ・タム~



クラブ事務局が また **移転** しました！！

結成55周年を迎えた今から5年前、西条駅近くのクラブ事務局から西条商工会議所3Fへ移転したところですが、この度また！！移転しました。

とは言っても、1Fのテナントへ降りたという引っ越しですので住所に大した変更はありません。が、日頃の委員会、理事会が事務局の中で開催できる程の広さ、1Fという出入りのし易さ等良い事がいっぱいあります。地域の皆様にもライオンズクラブをもっと知ってもらえる交流の場となれるよう、今回の移転を機により一層ライオンズ活動に励みます。



クラブ事務局移転に伴い、越智英明より寄贈

西条ライオンズクラブ事務局にそびえる

～ 霊峰 石鎚山 ～

作者 越智雄二氏

「越智 雄二(1918～2011年)」氏 西条市に生まれる。洋画家で、当ライオンズ越智英明の叔父さん。昭和17年春陽会出品初入選、以後毎回出品、昭和18年東京美術学校卒、師田辺至、昭和21年第1回日展入選、昭和35年第37回春陽会会員に推挙、渡欧、昭和38年文春画廊、昭和45年東京日動画廊その他個展数回。

また、早朝の石鎚山に太陽が届く瞬間の神々しい御姿を描いた「紅雲(石鎚山)」は、平成8年に伊曾乃神社 宝物殿に奉納されており、西条市総合文化会館大ホール緞帳(平成7年作成)の原画にもなっている。



四国の狸伝説

喜左衛門狸の伝説

愛媛県西条市にある大気味神社(JR壬生川駅から徒歩10分)の祭神は、オオゲツヒメ(大気都企売神)であり、江戸中期(1705年：宝永2年)に起こった飢饉の際、村人が神の守護を願うために創建したとされている。この大気味神社の境内にある大樹に住んでいたのが、「喜左衛門(きざえもん)」という名の狸であった。この狸は四国三大狸に数えられており、有名な伝説を残している。

ある時、喜左衛門狸が「金毘羅様へ行く」と言って出かけると、ちょうどそこで、屋島の禿狸に出会った。そこで、早速「化けくらべ」を始め、禿狸は得意技である源平の壇ノ浦の合戦を再現して見せた。喜左衛門狸の番になると、「数か月後に大名行列を見せてやる」と禿狸に約束した。

その当日、禿狸が約束の場所へ行くと本物そっくりの大名行列が向こうからやってくる。感心した禿狸は近寄っていくと、いきなり護衛の侍に斬られそうになる。這々の体で屋島に帰った禿狸であるが、喜左衛門狸は、あらかじめ大名行列がそこに通ることを知っていて、一杯食わせたのであった。

このように喜左衛門狸は悪戯好きの狸であったが、大気味神社の眷属としての務めもよく果たした。ある時、神社の神殿が荒れ果てているのを見て、人に化けて菊間町の瓦屋に屋根瓦を千枚注文した。ところが、そこでうっかり狸であることがバレてしまい、窯に入れられて焼き殺されてしまったという。その後、しばしば不審火が起こり、喜左衛門狸の祟りだと言われたことも。

その喜左衛門狸の逸話は、明治時代までも続き、日露戦争にも出征したとの伝説が残る。喜左衛門狸は、小豆に化けて大陸に渡り、上陸するやいなや豆をまくように全軍に散っていき、赤い服を着て戦ったという。

ロシアの敵将・クロパトキンの手記によると、「日本の兵隊の中には、赤い服を着たものが時々混じっており、いくら打っても進んでくる。しかもこの兵隊を撃つと目がくらむ。赤い服には〇に喜の時の印がついていた」と記されているという。

西条石鎚LC 眞鍋敏朗氏より寄稿いただきました

シリーズ 伊予西條遺産

第六代伊予西条藩主 松平頼謙(よりかた)

在任期間 (1775年～1795年)

～ テーマ ～

『禎瑞新田の開墾と郡奉行・竹内立左衛門』

松平頼謙は、紀伊家第七代徳川宗将の六男。明和九年、先代である松平頼淳の養子となる。安永四(1775)年、頼淳が紀州の宗家に復したので、代わって21歳の頼謙が西条藩を継いだ。安永七(1778)年、竹内立左衛門を用いて禎瑞新田を開拓。工事は5年間で竣工、延べ58万人の人力と2万両の経費を費やして、約3百町歩の大新田を得た(1町歩はざっと1ヘクタール)。入植者は領内54軒、讃岐国51軒、阿波国21軒等で、計142軒。

安永八年には、荒木満福寺に「時の鐘」を造り、正午に鐘を撞かせた。

頼謙は治世21年、寛政七(1795)年に病気のため退隠し、文化三年に没した。享年52歳。江戸池上本門寺に葬られた。頼謙は「謙遜厚く、文学あり、儉徳に渉る」人物で、先代頼淳が養子としたのも、このためであるといわれる(南紀徳川史)。

竹内立左衛門は、禎瑞新田の郡奉行(こおりぶぎょう：農民の管理や徴税・訴訟を扱った地方行政官)。幼少の頃から学を好み、見識と思量がありすぎて世間から受け入れられなかったとのことであるが、たびたび時宜にかなった上申書を提出したことで、頼謙の目に留まり、安永五年にまずは江戸の郡奉行として拔擢された。

安永七年、立左衛門38歳のとき、ついに彼の禎瑞開発案が採用される。工事の第一に当時の海岸より約25町(ざっと2.5km)の沖合に船で土砂を運んだ。海の真ん中に山を造り、「産山」と名付けた。人々は「あんなことで何ができるか」と嘲笑したという。これは、三つの川の三角州を利用したもので、十分に計算されたものであった。「産山」は、現在の禎瑞新田の西北隅にある「南蛮樋(なんばんひ)」の手前付近に位置する。

なお、禎瑞新田は藩の新田ではなく、松平家直営の新田であり、「表面的には隠されていた」。

【1月号会報誌～シリーズ伊予西条遺産～】正誤表

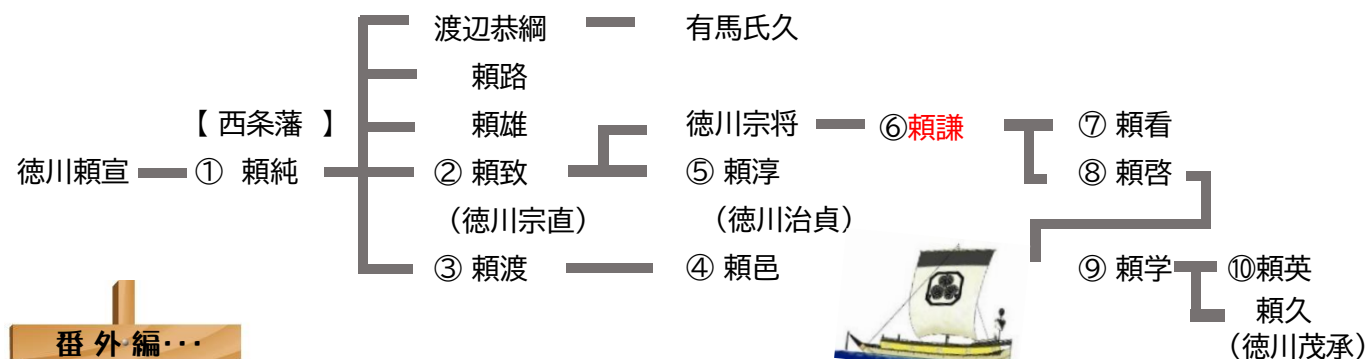
下記のとおり、誤りがございましたので訂正してお詫び申し上げます。

7頁	12行目	(誤) 庇護の鳳凰	→	(正) 肥後の鳳凰
	14行目	(誤) を宗利、	→	(正) を旨とし、
	17行目	(誤) 念義妹	→	(正) 年貢米
	29行目	(誤) 一期行為	→	(正) 一揆行為
	31行目	(誤) 一期が多く	→	(正) 一揆が多く

参考資料：

西条市誌(西条市)

西条人物列伝(西条郷土史研究会)



番外編...
禎瑞よもやま話

【1】 禎瑞の名前の由来

地名の由来は、西禎瑞八幡南方の水田の中に湧き出した「黄金水」。干拓の難工事を終えた翌年に泉が湧き出し、人々は「天から嘉瑞(かずい：めでたいしるし)を賜った」といって喜び、藩主頼謙が「嘉」と同じ意味の「禎」をあて、「禎瑞(よろこばしいしるし)」と名付けたことによる。

嘉母神社の名もここから起こったとのことですが、よくわかりませんでした。

〔2〕「黄金水」記念碑

現在、「黄金水」は涸れ、この記念碑だけが立っています。



〔3〕 嘉母神社「日本一の名水」

平成八年の「全国利き水大会」で「一番おいしい水」として日本一に輝く。看板奥の手水鉢に自噴水が湧き出しています。



〔4〕 嘉母神社 「昭和南海地震からの復旧事業の記録を刻んだ石碑」

禎瑞は、1854年の安政南海地震、1946年の昭和南海地震で沈降。昭和南海地震では平均 60 cmの地盤沈下。田畑に潮が流入するなど大きな被害を受けた。その前は 1707 年の宝永地震。100 年～150 年の周期なのでしょうか？



〔5〕 南蛮樋（石造りの門）

禎瑞北西の端にある「遊水池の水を調整する役目」であった樋門。「大石樋」だけが現存。200 年間にわたり、「潮の干満に合わせて毎日 2 回欠かさず開閉」するお役目の人がいたそうです。脱帽です。



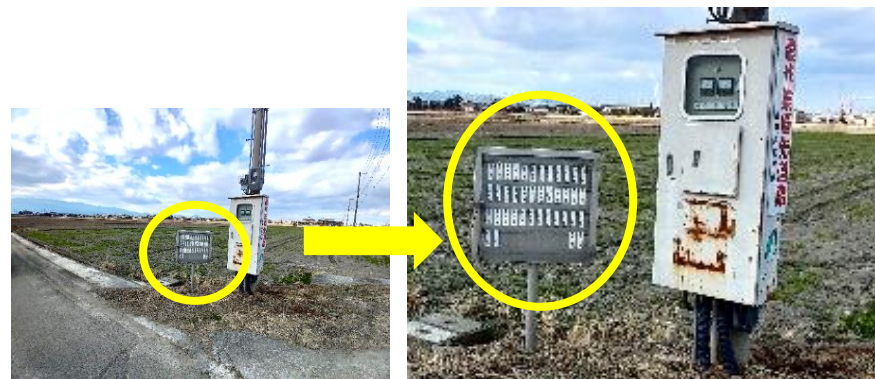
〔6〕 四国のベネチア

水路に浮かぶように家が建っていて、ベネチアを思わせる景観。手前が「南蛮樋」です。



〔7〕 荒神社境内の砲弾

日露戦争において連合艦隊の旗艦として活躍した戦艦「三笠」の砲弾。禎瑞出身の海軍大佐が奉納したそうです。秋山兄弟ではありません。



〔8〕 禎瑞によくある「名札」

田に水を入れる「汲み上げポンプ」の使用札。田に水を入れる人は、「自分の名前の札をひっくり返して赤字の表示に替え、使い終わったらもとに戻す」のだそうです



西条ライオンズクラブ 会員募集中!

We Serve

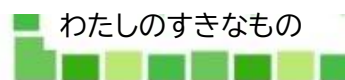
◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。
世界で約 200 以上の国または領域にあり
49,000 を超えるクラブが存在し、140 万人以上の会
員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして
結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を
合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動
を行っています。人の為に、社会の為に、一人ではでき
ないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わ
せて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献してい
くという団体です。

古切手 使用済み切手の
収集活動も行っています。
集められた切手は、役立
てられる団体へ送ります。



No. 36 明比紳一郎

■ 好きな食べもの

妻の手料理

■ 好きな本

・「言志四録」著 佐藤一斎
西郷隆盛が生涯にわたって愛読した「人生訓の名著」
・「ながい坂」(著 山本周五郎)※読書中

■ 好きな音楽

宇宙戦艦ヤマト 兄弟船 演歌

■ 好きな芸能人

内田有紀

■ 今、はまっていること

バラの栽培



■ 古稀を迎えて一句

「古稀来たり 我が夢何処 未だ見えぬ」
「古稀来たり 我が夢探し リ・スタート」

編集後記



石鎚神社さんでの清祓い式でスタートするこの2月号が皆さんのお手元に届いたときには、いま猛威を振るっているオミクロン株が終息していることを願うばかりです。

禎瑞新田開墾の記事を書かせていただきました。禎瑞はお気に入りのランニングコースでご縁を感じています。絵描きを副業とする行員に「四国のベネチア」の場所の絵を書いてもらい、部屋に飾っています。陽の光がきらきらと反射する初夏の頃の絵で、ストレスが溜まったときの心の癒しです。

先日、千町棚田で草刈りをしてきました。西条にはたくさん絶景スポットがありますね。次の狙いは氷瀑の「高瀑」で、ピッケルを仕込みました。

大人数では動きづらい環境ですが、コロナ禍に負けないライオンズ活動により誌面も充実したものとなるよう祈りながら、広報誌づくりに努めてまいります。

MC・地区誌編集委員 二瓶大介

発行者 会長 曾我部克正
幹事 植木光夫
[MC・地区誌編集委員会]
委員長/副委員長 高田潤一/二瓶大介
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美
盛實正人・小野雅志
例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館1F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://saijo-lions.jp
facebook http://facebook.com/saijo.lions/